

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 齊藤 光雄 佐藤 芳徳

第13回例会 ■ 10月7日(金)

No.13

会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちはー

今月は米山月間です。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家・米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。“1ヶ月のタバコ代を節約して、留学生支援に”というスローガンで、1952年に東京ロータリークラブで始められたこの運動は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、今日に至っています。奨学会の目的は、勉学、研究を志している外国人留学生に対し、全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援することです。特色として、奨学金による経済的な支援だけでなく、奨学生とロータリアンとの交流があります。奨学生に世話クラブとロータリアンのカウンセラーがつき、奨学生の個人的ケアに当たります。2015年度決算報告書によると15年度の寄付金収入は15億円に達し、16年度の採用数は740名です。会員の皆様には一人20000円の目標が来ていますが、この趣旨をご理解いただき更にご寄付をお願いします。

出席報告

出席率 98.18%

ビジター

永井真伊君・細野春貴君（高田 RAC 幹事・会員）

メイクアップ

山田吉徳君（10/1 社会奉仕委員会セミナー）

本山秀樹君・東山昕也君・羽深耕時君・高橋正彦君（10/6 地区ゴルフ大会）

セレモニー



入会式 島元 亨君

米山記念奨学金贈呈 白麗萍さん

お客様スピーチ

永井真伊君——高田 RAC45 周年記念事業における補助金の御礼

委員会報告

出席ニコニコ BOX 委員会

橋詰敏一君——昨日の武蔵野酒造さんの「金蘭会」にて、利き酒全問正解できました。色々衰えを感じる頃々ですが、少々自信が戻りました。

宮澤英文君——昨夜、武蔵野酒造「金蘭会」に於いて、利き酒ならぬ、見本との「飲み当て」で全問正解しました。これでまた、酒飲みの看板が一枚、厚くなりました。

親睦委員会——10月のお誕生日各お祝い

幹事報告

配布物：週報No.12

回覧物：ガバナー月信 10月号

卓話

中国内モンゴル 私のふるさと



米山記念奨学生 白麗萍さん

設置時間：内モンゴル自治区（内蒙古自治区）は、中華人民共和国が1947年に設置した省級の自治体。

地理：東西に長く伸びており、東から順番に黒竜江省・吉林省・遼寧省・河北省・山西省・陝西省・寧夏回族自治区・甘肅省と南に接し、北はモンゴル国・ロシア連邦と接している。面積は、1,183,000 km²。

言語：中国語とモンゴル語が公用語である。ただし、モンゴル国で使用されるモンゴル語と内モンゴル自治区で使用されるモンゴル語には違いがあり、前者はハルハ方言、後者はチャハル方言である。

人口：2470万6321人（2010年）漢民族約80%を占める。モンゴル族は約400万人、モンゴル国のモンゴル族は270万。

民族：漢民族・モンゴル族・ダウール族・エヴェンキ族・オロチョン族・回族・満洲民族・朝鮮族などが居住している。

看板と道しるべは、必ずモンゴル文字をつけること。

内モンゴル東部と西部の気候は大体二種類に分け

る。東部は草原気候で、湿地、森が多いが、緯度が高いため、冬るとき非常に寒い。平均温度はマイナス28度。西部は砂漠気候で、風が強いが、緯度が低いため、天気は温かい。しかし、一日の気温変化は激しい。対比するため、両極端の写真を取り上げた。全体としては、草原は典型的な自然風景である。

農業・畜産業、鉄鋼業・林業などもある。主要な農作物はソバ、玉蜀黍、日本に輸出されている。牧場を経営する人は少なくなってきた。豊富な石炭と天然ガスのほか、希土類（レアアース）の生産量は中国一であり、特にバヤン鉱区は世界最大の希土類元素鉱床がある。石炭は年間5億トンの産出を目指す。オールドス市一人当たり域内総生産（GDP）2010年には香港を超えて中国最高となり、バブル崩壊まで「中国一豊かな都市」と呼ばれた。

文化としては、多元化の文化がみられる。人々は豪快で、とても楽天的である。

食べ物は牛肉、羊、ミルク製品などが代表的。お酒が強いところ。

まだいろいろあるが、スライドをご覧ください。（このあとスライドにて内モンゴルの紹介をしていただきました）

ロータリーの友10月号より その1

今月のロータリーの友では10月24日の世界ポリオデーを記念した記事や特集が多く見受けられます。「ポリオ」という感染症について厚生労働省のホームページから改めて確認したいと思います。

- ポリオは、ポリオウイルスが人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染します。増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介してさらに他の人に感染します。成人が感染することもあります。乳幼児がかかることが多い病気です。
- ポリオウイルスに感染しても、多くの場合、知らない間に免疫ができますが、腸管に入ったウイルスが脊髄の一部に入り込み、主に手や足に麻痺があらわれ、その麻痺が一生残ってしまうことがあります。現在、残念ながら特効薬などの確実な治療法はありません。
- 日本では、1960（昭和35）年に、ポリオ患者の数が5千人を超えましたが、生ポリオワクチンの導入により、1980（昭和55）年の1例を最後に、現在まで、新たな患者は出ていません。ただし、今でも、海外から、ポリオウイルスが国内に入ってくる可能性があります。ポリオに対する免疫をもつ人の割合が減ると、流行する危険があります。

次回につづく